

S級公認審判員候補者審査資料（書式2）個人票記入上の注意点

この書式第2号用紙は、申請者が作成して下さい。作成したものを日本陸連に提出する書類です。記載例を添付しているにもかかわらず「誤記入」や「勘違い」があり、返送して再提出をお願いしています。

本年度は、本状及び記載例を熟読されて間違いのないようご提出下さい。

1 記入上の注意

(1) 必ず本人が作成して下さい。

(2) 年月日は、西暦で記入すること。

・生年月日 ・A級取得年月日 ・審判講習会受講年月日

2 協会名 一般財団法人 北海道陸上競技協会

3 所 属 登録している地方陸協名

4 主な審判歴の欄

(1) 日本陸連カレンダー記載の競技会とする。（日本陸連ホームページに記載あり）

(2) 記載順は、上の段から2017年より新しい順に記載して下さい。2013年以前の競技会は記入しないこと。審判種別の欄には出来るだけ違う種別を記載して下さい。

(3) 記入競技会は、年間2回程度とし、道路競技のみは避けること。

(4) 審判手帳に記入、押印されていない競技会は、記入しないこと。

(5) 大会回数のあるものは必ず入れること。（第〇〇回 北海道△△大会など）

(6) 同じ審判種別であっても「 〃 」として省略しない。

5 審判講習会の欄

(1) 受講年月日は、西暦で記入すること。2017年より2013年までの過去5年間とする。

(2) 審判講習会は、競技規則伝達講習会であり、実技講習会は該当しない。

(3) 同一年度に何回受講しても、受講回数は「年1回」とする。

(4) 日本陸連の会計年度（4月1日から3月31日）に合わせること。

注：2016年4月20日と2017年3月20日は同じ年度である。

(5) 場所・講師名が同じでも「 〃 」として省略しない。

6 推薦理由の欄

所属する各地方陸協の理事長または審判委員長は、推薦理由を200字程度にまとめて記入して下さい。未記入では申請できません。

7 推薦責任者 一般財団法人 北海道陸上競技協会会長名となります。